



「救命救急センターの診察体制と COVID-19診察のご紹介」

公立置賜総合病院 救命救急センター長 五十嵐 季子

日頃より公立置賜総合病院救命救急センターの運営にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

2022年4月よりセンター長を務めております五十嵐季子と申します。今回は、当センターの診療体制とCOVID-19診療をご紹介します。

【救急外来】平日日中は救急科医師と研修医が初療を行います。曜日により、総合診療科医師と麻酔科医師の応援診療があります。夜間休日は、日当直医（診療科医師）と副直医（研修医）が初療を行います。平日19時から22時は、南陽市東置賜郡医師会と長井市西置賜郡医師会からの派遣医師に協働診療をお願いしています。平日日中も、夜間休日も、専門的な治療を要する場合は、初療を担当した医師がその疾患や外傷を専門とする診療科医師に引き継ぎます。

診療の主な対象は、救急搬送された患者さんと、医療機関や介護福祉施設から緊急にご紹介いただいた患者さんです。当日の診療を要する緊急のご紹介は、救急外来が窓口です。病院ホームページの「ご紹介方法」にあります、「緊急に診療が必要な場合（当日診察希望）」をご確認ください。

2000年の設立時から、当センターは救命救急センター本来の機能（重症な患者に高度な医療技術を提供）を果たすために、地域の医療機関に機能分担をしております。COVID-19診療は、発



【ICU 陰圧室】ガラス貼りになっており、
陰圧室外から観察できます。

熱外来を設けずに、保健所や医療機関からご紹介いただいた中等症以上の感染者を受け入れています。

第7波の流行以降は、発熱のない感染者も増えています。初療で遺伝子検査を行い、感染を強く疑う場合は陰圧ブースでの診療を徹底し、救急外来から院内へのCOVID-19流入を防いでいます。

【集中治療室(ICU)とハイケアユニット(HCU)】ICU 8床、HCU 12床の専用病床を有し、患者さんの重症度に応じて入室を決定しています。COVID-19流行後のICUは、陰圧室1床をCOVID-19重症者用とし、他の7床では通常の集中治療室の機能維持に努めてまいりました。先が見えないCOVID-19との戦いでは、複数の重症者がICUに入室することも想定し計画しています。

【最後に】地域の医療機関にご依頼している機能分担によって、当センターは救命救急センターの機能を維持し、未曾有の感染症との戦いも続けられています。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

特集:「救命救急センターの診察体制と
COVID-19
診察のご紹介」
救命救急センター長
五十嵐 季子
・・・1

・救急当日受診
について
・・・2

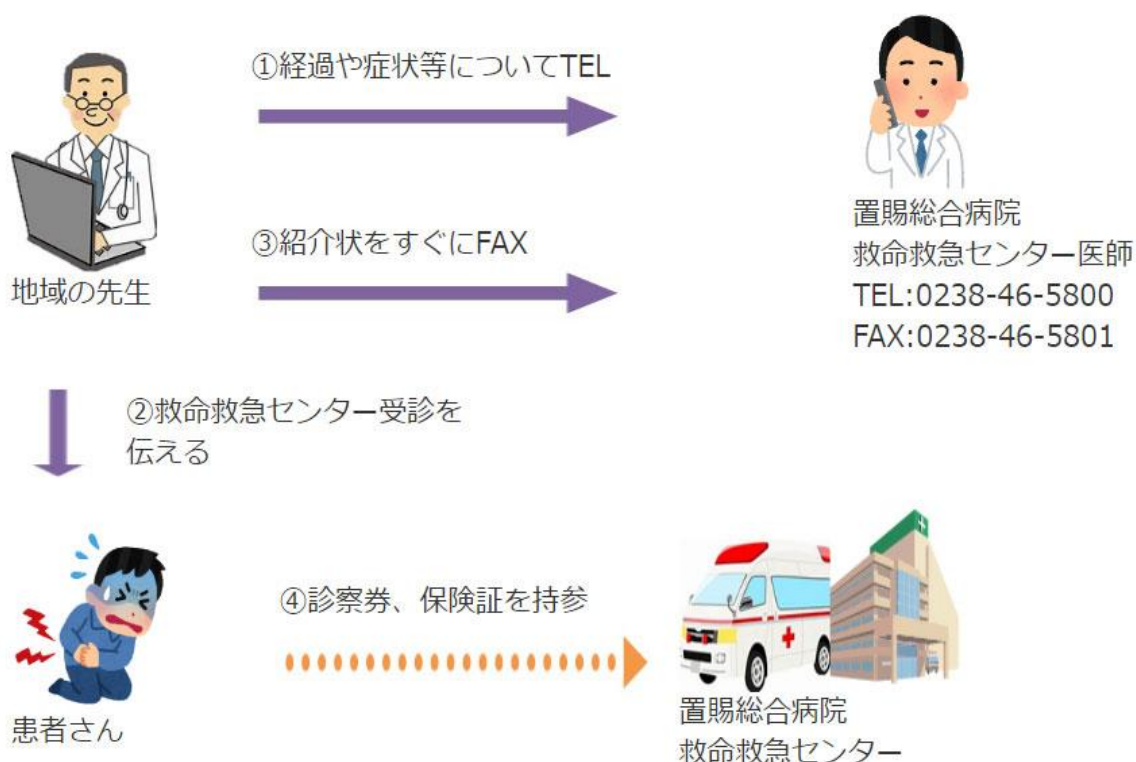
・「COVID-19
について」
感染管理認定看護師
横澤 博美
・・・3

・感染対策について
・MRI 検査予約制限、
解除予定について
・・・4

緊急に診療が必要な場合（当日診察希望）のご紹介方法

緊急に診療・検査が必要な場合は、下記フローにてご紹介ください。

診療は、当院救命救急センターで行いますので、**患者さんの仕事の都合などの個人的な理由による紹介はご遠慮ください**。緊急を要さない場合は、翌日以降の診察予約をお願いいたします。



【注意事項】

1. 当日ご診察希望の場合は、日時に関係なく救命救急センターへご連絡をお願いします。（TEL:0238-46-5800）
2. 受診が決まりましたら、患者さんの受診に間に合うように紹介状を救命救急センターへFAXでお送りください。（FAX:0238-46-5801）
3. 紹介状の原本を患者さんに渡し、当院へお越しいただくようにご案内をお願いします。紹介状をお渡しできなかった場合は、後日郵送をお願いします。

「COVID-19 について」

公立置賜総合病院 感染管理認定看護師 横澤博美

山形県で陽性者が初めて報告されたのは2020年の3月31日でした。あれから間もなく丸3年になります。当初は、置賜管内の患者さんの多くを当院で対応していました。その後、少しずつ診察していただける医療機関が増え、現在は入院対応していただける医療機関も増えてきました。介護施設でクラスター発生時にはその施設で診ていただけるようにもなりました。検査においては、一般の人でも抗原キットを入手できるようになり、家で簡単に検査できるようになりました。3年間で少しずつ変わってきました。そしてこれからどうなるのか、まだまだ先が遠い感じです。

それではこの辺で、私のコロナ対応（出来事・思ったこと・独り言など）を少し。内容は、私の主観が多く入っていますのでご了承ください。

★喉が痛いから抗原検査したけど陰性。それ以降は安心して症状あっても検査しなかった。

→あと一回くらい検査してほしかった・・・。

★熱あるんですけど、どうしたらいいですか？

→検査してください。→陽性でした。

→やっぱりね。っていうか、仕事来ちゃダメでしょ！どうしたらいいですかじゃないでしょ！！

★患者さん、この日すでに喉と咳の訴えあったのに。検査してればなあ・・・。

★今日接触したからと慌てて今日検査する人。

→陰性は当然ですから。検査キット、もったいないですよ。



★陽性だった子供と寝ていたスタッフ。代替えいないからとは言え、毎日陰性確認後に出勤はやめた方がいいのでは？4日目と5日目の検査で陰性なら出勤可が妥当かな・・・。やはりその前に陽性になりました。休んでもらってよかった～（ホッ）。

★〇〇さん陽性でした。どうやら部屋でワールドカップ（対スペイン戦）を一緒に見たスタッフがいるようです。どのくらい騒いでくださったのでしょうか？（苦笑）。

→（後日）やはり3日後陽性になりました（苦笑）。

★ピンポイントで接触歴がわかる人。接触後3日に発症する人多いかも？

★コロナ陽性と言われてから慌て始める接触者たち。今頃慌ててももう遅いですから・・・。

★土曜日一緒に会食した人、コロナ陽性だったそうです。→（首カックン）。

こんな感じで毎日仕事しております。共感していただける部分が少しでもあればうれしいです。

5月にはCOVID-19が5類相当になると言われています。そうなれば、受け入れをしていなかった医療機関でも対応が必要になりますし、今まで以上に普通に外来に来る人が多くなると思います。はたしてその時大丈夫だろうか、混乱なしに対応できるだろうか、どこまで対策が必要だろうか、まだまだ不安は尽きません。今までコロナ対応をしていなかったところも、そろそろ覚悟を決めて、5月に向けての準備を始める時期かと思います。



研修場面

置賜広域病院企業団
公立置賜総合病院

病院理念
心かよう信頼と安心の病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地
TEL : 0238-46-5000
(代表)

ホームページ :
www.okitama-hp.or.jp

医療連携・相談室 E-mail :
renkei@okitama-hp.or.jp

医療連携・相談室 1
(退院支援・連携部門)
FAX : 0238-46-5721

医療連携・相談室 2
(相談・入院・精神部門)
FAX : 0238-46-5030

予約センター(直通)
TEL : 0238-46-5700
FAX : 0238-46-5722

感染症対策について (令和 5 年 1 月 20 日時点)

当院では、引き続き感染症対策を講じております。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

受診者対応…正面玄関にて検温を実施(7:30-16:30)。発熱(37.5℃以上)や身体症状がある場合は、看護職員がスクリーニングを行い対応致します。

面会対応…面会は全面禁止。

緊急等、医師が認めた場合のみ、キーパーソンに限り短時間の許可をしています。

その他…入退院付き添い最大 2 名、手術待機最大 3 名、医師説明最大 3 名(それぞれ県外者は 1 名まで)

★地域の医療・介護関係者の方の面会も医師が認めた場合に限りです。

面会が必要な場合には、医療連携・相談室退院支援担当者にご相談下さい。

★オンライン面会を実施しています。希望日の 3 日前までにお申し込み下さい。

※感染状況により、対応が変更される場合があります。

面会対応について詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

MR I 検査の予約制限、解除予定について

現在、MRI の更新作業により、MRI 検査の予約に制限かかっておりますが、3 月 27 日より制限を解除して検査を受付いたします。

制限解除まで引き続きご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



今年も医療連携・相談室を
どうぞ宜しくお願い致します